

大阪アニメーションカレッジ専門学校 専門課程

## 2020 年度 学校関係者評価報告書

(基準日2021年3月31日)

## はじめに

本校では、学校教育法及び学校教育法施行規則に則り、学校評価（自己評価・学校関係者評価）実施に向けた体制作りを行ってまいりました。そして現在、文部科学省策定の『専修学校における学校評価ガイドライン』をもとに、学内におけるPDCAサイクルの確立を目指し自己評価を行っています。より充実した、教育環境と在校生・卒業生のサポート体制確立に向けさらなる努力をしていく所存でございます。本校関係各位の皆様におかれましては、さらなるご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

2021年8月

学校法人大阪創都学園  
大阪アニメーションカレッジ専門学校  
学校長 田中 道信

### <学校関係者評価委員>

- 地域関係者 瀧川紀征 江坂企業協議会 副会長
- 教育関係者 東龍太郎 科学技術学園高等学校 通信課程 分室長
- 業界関係会社 三原淑治 エム・アイ・プランニング株式会社 代表取締役
- 卒業生 北原優希 アニメ声優コース 5期生(2008年度生)
- 学校関係者 田中道信 大阪アニメーションカレッジ専門学校 学校長  
西尾拓也 大阪アニメーションカレッジ専門学校 副校長  
城将敏 大阪アニメーションカレッジ専門学校 事務長

### <実施概要>

- ・評価項目についての前年度対比の解説と今後の対策
- ・評価者の方々からのご意見及び質疑応答

# 大阪アニメーションカレッジ専門学校 専門課程 2020 年度自己評価表

## I.令和2年度自己評価報告について

- ・学校長挨拶
- ・自己評価報告書において特筆すべき項目について個別説明(下記参照)

### ■学校運営

- 2-13 ・情報システム化等による業務の効率化が図られているか

学内情報の web 掲示板や sigfy の活用を工夫し、学生生活や就職関連について効率よく情報発信を行っている。

### ■教育活動

- 3-25 ・関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含め)の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか

今年度は、声優学科卒業生を新職員として採用。マンガ、アニメ分野に関しても今後若手人材を採用予定。(2021 年度 4 月からキャラクターデザインコース卒業生を職員として採用)

### ■学修成果

- 4-30 ・退学率の低減が図られているか

昨年度は、3 学年とも退学率が 10%未満となった。

### ■学生支援

- 5-35 ・学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか

これまでの学生支援機構の奨学金制度、提携の教育ローン、学校独自の特別分割、校友会奨学金制度、特待生制度などに加え 2020 年度より『高等教育の修学支援制度』の認可申請済み

### ■社会貢献・地域貢献

- 10-58 ・地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか

小学校(摂津市、奈良県)などへのアニメ業界オンライン特別講座などを実施。  
大阪市子ども青少年局「子ども夢・創造プロジェクト」声優ワークショップ実施(会場提供)

### ■国際交流

大項目を追加

## Ⅱ 授業運営及び学事等の報告

■2020年度は、新型コロナウイルスの影響により、授業スタートが6月となり、対面での授業と、オンラインでの授業を、併用する形での時間割でスタートしました。実習系の授業は対面で実施、密を避けるために教室を分散させ、使用した教具の消毒行い感染拡大防止に注力した。開講スケジュールの変更はあったものの、各授業担当講師と打ち合わせを行い、予定したカリキュラムを実施することができました。

### ■主な学内行事

入学式(オンラインのみ)、学園祭(対面とオンライン併催)、進級公演(対面とオンライン併催)、卒業公演(対面とオンライン併催)、進級卒業作品展(対面のみ)、卒業式(対面とオンライン併催)

### ■その他 地域貢献活動な／産学協同プロジェクトなど

- ・花とみどりの情報センター作品展実施
- ・垂水保育園「壁画制作現地作業
- ・吹田市保健所「薬物乱用防止キャンペーン用ポスター、クリアファイル」作成
- ・大阪市子ども青少年局「こども夢・創造プロジェクト」声優ワークショップ会場提供
- ・南海電鉄 PR アニメーション制作「めでたい電車」

■感染症拡大防止対策として、学内に職員による対策プロジェクトチームを設置。

## Ⅲ.ご質問、ご意見

■ご質問:「コロナ関連によるアニメ産業への影響はどうか？また新作アニメの制作なども活況に感じる。アニメ制作会社(特に関西)の状況はどうか？」

回答:コロナ禍においてネット系のオンデマンド放送の本数が増加していることもありアニメーション制作の数は減少していない。

■ご質問:「コロナ禍での日本語学校の状況等の情報はるか？又、入学者への影響はあるか？今後コロナが落ちればまた留学生の増加が見込めるか？」

回答:今年度の入学者から留学生への影響は減少傾向。日本語学校においても留学生が激減しているとの情報はるか。又、本校に入学が決定した学生の中にも本国から出国できずオンライン授業で受講している学生もいる。

■ご質問:「オンライン授業に対する学生の反応はどうか？中にはコミュニケーションが苦手で、特に入学したてでの授業スタートはオンラインの方が良かったという人が居たことも進級率アップの一員になったのではないか？」

回答:人間関係の苦手な学生にとっては、オンライン授業が功を奏したと感じています。学生個々によりオンラインと対面それぞれメリットデメリットがある。

■ご意見:「イベント MC の現場は、コロナによる影響はかなりあったが、ただそれをオンラインに切り替えてご依頼をいただくケースは増えてきている。声優の授業でもオンラインを取り入れたトークも今後必要と感じます。」